

指定管理導入施設実績評価シート（令和4年度）

		施設所管課	福祉部 子ども未来局 子育て総合支援センター
施設名	東部つどいの広場		
指定管理者	ほっこりひろばの会		
指定期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和7年 3月 31日		
指定管理料	年額 6,015,000円 (総額 30,075,000 円)		
設置目的	地域の子育て支援機能の充実を図ることにより、親の子育てに関する不安感等を緩和するとともに、子どもが健やかに育つことに寄与するため。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> 子育て中の家族の交流の機会及び場所の提供 子育てに関する相談及び講座の実施 子育てに関する情報の提供 子育てに関する事業を行う者等との連携及び調整 		

所管課 総合評価	I~IVによる総合評価	総合評価コメント
	B (良好)	感染症対策(3密回避、消毒等)を徹底し、安心してひろばを利用してもらう環境整備がなされていた。収支状況は工夫され問題なく執行されていた。地域の子育て関係機関や子育てサークルとの連携等、東部地域の子育て支援施設としての機能を十分果たしている。

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
I 実施体制	施設の設置目的の達成 <input type="checkbox"/> 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B (良好)	3年目も続くコロナ禍で感染対策のために開館時間が短くなったが、利用者ニーズに沿って管理運営した。	B (良好)	地域の子育て支援施設としての設置目的にあった事業運営がされていた。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 <input type="checkbox"/> 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 <input type="checkbox"/> 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 <input type="checkbox"/> 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 <input type="checkbox"/> 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B (良好)	事業計画に沿って実行可能な職員配置を行った。消毒作業、安全確保に必要な人員も多かったため、多めの職員配置となった。また、時給も最低賃金を下回らないように改定した。	B (良好)	事業計画書に沿った職員配置ができていた。出勤状況、勤務形態についても適正であった。
	職員の研修 <input type="checkbox"/> 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B (良好)	職員会議ごとの研修、外部研修にも数回参加し職員に周知した。	B (良好)	事業計画書に基づき、業務に必要な研修が実施されていた。
	法令等遵守 <input type="checkbox"/> 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B (良好)	コロナ禍で、法令も変化があったが対応できるようにして法令遵守した。	B (良好)	仕様書、条例等の違反は見られず遵守されていた。
	個人情報保護・情報公開 <input type="checkbox"/> 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法(実地調査)	B (良好)	利用者からの個人情報も適切に処理した。HPなどの公開も適切に行った。	B (良好)	個人情報の保管等取り扱いは適正に行われていた。
	管理記録 <input type="checkbox"/> 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 <input type="checkbox"/> 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	業務日誌は毎日適切に記入保管、安全点検も月ごとに行い記録した。	B (良好)	業務日誌、点検結果とも適正に整備、保管されていた。
	連絡体制 <input type="checkbox"/> 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 <input type="checkbox"/> 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	ゆめっこの連絡はできるだけ密に行い報告書の提出も指導を受けながら適切に行えた。	B (良好)	随時連絡調整をとり事業運営がされていた。事業報告書等の提出も適正であった。
	緊急時対応 <input type="checkbox"/> 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 <input type="checkbox"/> 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	緊急時のマニュアルも要件ごとにまとめて職員間で周知し施設側の火災、地震等の訓練にも必ず参加した。	B (良好)	緊急時の連絡体制が確保、マニュアルは適切に整備されていた。
《I 総括》 業務の実施体制に関する評価【標準8項目/当施設8項目】			B (良好)		B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和4年度）

評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由	
Ⅱ 内容・水準	施設管理 □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B (良好)	開館時間は消毒や安全確保のために昼1時間閉館時30分短縮したが、それ以外は遵守した。	B (良好)	開館日、開館時間は遵守されていた。安全確保のため必要な対策が講じられていた。
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	利用者数は目標よりも多かったが、安全確保は行いながらなので適切であった。	B (良好)	利用者数は妥当な水準であった。
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B (良好)	アンケート結果からも職員の対応は良い評価を得ているようで、適切に対応しているといえる。	B (良好)	利用者への対応は適切に行われていた。設備、備品等は適切に提供されていた。
	業務運営（全体） □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	指定自主事業は計画通り、利用者のニーズに合わせて取り組んだ。	B (良好)	事業計画書に則し、計画通り利用促進に向け、積極的に取り組んでいた。
	自主事業運営 □ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B (良好)	コロナ禍で、子育ての孤立感が深まっており、子育ての必要性や、子育て不安を解消できる取り組みが求められており、そのニーズに対応していた。	B (良好)	感染症対策に配慮しつつ、利用者のニーズに沿った自主事業が実施されていた。
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に行い、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B (良好)	点検は定期的に行い、修繕や新調も行って来た。おもちゃ類も経年劣化で修理・新調を行う必要のあるもの多く常に良い状態で利用者に提供できるよう、努力した。	B (良好)	施設、設備の点検や清掃は定期的に行われていた。備品の管理も適正に行われていた。
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	初めて利用の方には広場パンフレット等で説明を丁寧に行い、毎月の通信やHPなども活用した。	B (良好)	通信紙の発行やHPなどにより十分に情報発信がなされていた。
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	常に外気を取り入れ、サーキュレーター等で循環させることで省エネになるよう、安全と環境配慮の両面で行って来た。	B (良好)	省エネ等環境への配慮がなされていた。
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	意見箱の設置を行い、いつでも意見が出せるようにしながらも年2回のアンケート調査で利用者の要望が深く知れるようにした。	B (良好)	ひろばでの見守りの中で、要望や意見に対し迅速に対応されていた。
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B (良好)	利用者アンケートでは利用者の意見が出しやすくなるような工夫をし、出された意見に対しては答えを迅速に返すようにした。	B (良好)	利用者アンケート調査の結果や要望等は職員間でも共有し、利用者ニーズの把握に努めていた。
《Ⅱ総括》 業務の内容・水準に関する評価 【標準10項目／当施設10項目】			B (良好)	B (良好)		
Ⅲ 収支等	経理事務 □ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 □ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 □ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	B (良好)	専用口座、電子帳簿等を用い、適切に経理事務を行った。指定自主事業と自主事業の区分を明確に行い指定管理料の執行は適切であった。	B (良好)	専用口座を備え、帳簿や会計システムで適切に経理事務が行われていた。
	収支状況 □ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入－支出はプラスとなっているか。 □ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	年度途中での自主事業展開により、予算と決算にやや相違が出来たが、適正に処理した。	B (良好)	収支状況は妥当な水準であった。
	経費節減の取組 □ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 □ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B (良好)	電気代等の高騰により、予算より大幅に支出が増えた項目はあるものの、その他の項目で経費節減を行った。第三者委託も適切に行えた。	B (良好)	経費節減に向けた取り組みがされ、保守点検の第三者委託も適切に実施されていた。
	《Ⅲ総括》 経費の収支等に関する評価 【標準3項目／当施設3項目】			B (良好)	B (良好)	
Ⅳ その他 (独自の取組)	その他 □ 努力事項として掲げた広場に来られない状況にある親子ともつながり、孤立を防ぐ取り組みを推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	電話での相談増加やすやかさんなどの連携により孤立を防ぐ取り組みを推進できた。	B (良好)	電話相談ほか、孤立を防ぐ取り組みが行われていた。
	《Ⅳ総括》 その他に関する評価 【当施設1項目】			B (良好)	B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和4年度）

主な成果 (全体)	利用者数	目標	15,000 人	⇒	実績	21,837 人
	講座開催数	目標	66 回	⇒	実績	83 回
	講座参加人数	目標	800 人	⇒	実績	1,253 人
	【指定管理者コメント】					
今年度も感染対策をしっかりとりながらの運営となり、感染状況が厳しい時には来館者が密にならないように入場者数を制限するなどした。しかし、対策を十分にすれば、講座開催は可能であると判断し、計画通り実施した。講座開催数は製作・おしゃべり場・栄養相談の回数参加者数を加えたものである。利用者数及び講座参加者数も目標以上であった。						
【施設所管課コメント】						
利用促進に向け工夫され、利用者数、講座参加人数ともに当初の目標人数を上回った。講座の開催については、利用者のニーズもふまえ実施されていた。						

自主事業 実施による 成果	<主な自主事業の実施状況>				
	事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況 (実施・追加・未実施)	特記事項（「未実施」の場合はその理由）
	乳児講座	指定自主事業	2ヵ月ころから1歳ころまでの赤ちゃんの発達に即した講座を行った。ベビーマッサージ・リトミック・離乳食講座など。	実施	
	子育て講座（あそびの講座）	指定自主事業	様々な年齢の乳児幼児対象のおもちゃ作り講座や紙遊び・粘土遊びなど子育てを豊かにできる講座を行った。	実施	
	リフレッシュ講座	指定自主事業	身体を使ってリフレッシュする講座、手作りしながら語り合う講座等を通して子から少し離れてリフレッシュできる講座を行った。	実施	
	クッキング講座	指定自主事業	クッキング活動を通して親子の交流を図り、食育活動を通して見通す力や食に向かう力を育てる。	未実施	感染症予防のため行わなかった。
	おしゃべり場	指定自主事業	初めて子育てをする保護者が同じような月齢の子どもを育てる保護者と語りあうことにより、子育て不安の解消の一助とする。	追加	
	栄養相談	指定自主事業	管理栄養士が離乳食等子どもの食に関する相談を受け、食に関する「子育て不安を軽減する。	実施	
	製作の日	指定自主事業	手形足型をもとに季節の製作を親子で行い、子どもの成長を喜び、子育ての楽しさを感じる。	実施	
	子育て助け隊	指定自主事業	子育てに悩む保護者のリフレッシュ等のために短時間子どもを預かることで再び子育てに向かいやすくなるようにする。	追加	
【指定管理者コメント】					
指定自主事業の講座は毎月1日の申込日には満席となる事が多い盛況ぶり、アンケートなどでも、もっとたくさん開催してほしい等の要望が多かった。しかし、感染対策の観点から講座参加者数を増やすことが出来ず、講座数を増やすことで対処した。おしゃべり場を今年度は開催したが、参加者も多く、コロナ禍で、子育ての孤立感があって、人との会話を求められているのだなあと痛感した。					
【施設所管課コメント】					
事業は感染症の状況をみながら、安全に十分配慮しながら開催されていた。利用者のニーズも取り入れ事業を工夫されており、事業の満足度が高いことも評価する。					

課題及び 課題解決 の結果	【指定管理者コメント】				
	大津市東南部地域は、引っ越しなどで子育て家庭の流入も多い。きらきらひろばは、商業施設の中にあり、買い物で訪れた人が立ち寄りやすい立地にあるので初めて来られる人の割合が多いといえる。そうした人は丁寧な受け入れその後つながりを強めるなどして、子育て不安の解消に導いた。瀬田すこやかさんとの連携により、深刻な悩みを抱える方、支援が必要な方の把握も常に行い、ひろばへの来場、子育て応援隊での支援など、行ってきた。支援が必要なすべての人に届いたとは言えないと思うが、今後も努力をしていきたい。				
【施設所管課コメント】					
今年度もコロナ感染症対策を行い、利用者に安心してひろばに来てもらう環境の整備、事業の運営が必要であった。工夫して少しずつコロナ前の状況に戻していく取り組みにより、利用者数の増加につながった。					

特記事項等	
--------------	--

